

みんな知ってる？

アフリカ・アンゴラ共和国と横浜市・都筑区の友好の証

あかし

へ き が

センター北駅の壁画のなぞを追え！



【教えてくれるのは…】都筑区が大好き！都筑のことなら何でも聞いて！《自称》探偵（見習い）のつづきわかるくんです（特技は変装です）

Q1

センター北駅には、なんだかすごい「壁画」が飾ってあるって本当？

センター北駅構内には、右の写真のよう2枚の巨大な「壁画」が飾られているんだ！なんと、**大きいほうは、高さ2.5m・幅18m、小さいほうでも高さ1.75m・幅6m**と巨大な作品なんだよ！みんな見たことあるかな？よく見ると、実際の民族衣装の素材なども付けられていて、立体的でスゴイ迫力ある大作なんだ！



わたしにまかせなさい！



・大きいほうの作品（1階通路「出口1」近く）



・小さいほうの作品

（2階・3階エスカレーター横）

Q2

なんでそんな壁画が飾られているの？

この海もアンゴラにつながっている



センター北駅構内に飾られている2枚の「壁画」は、2008年に「第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）」（※）という大きな国際会議が横浜で開催されたときに、**アフリカの「アンゴラ共和国」**という国から**両国の友好・親善の証**として製作され、贈られたものなんだ！
このとき、会議の参加国を紹介する「1駅1国運動」というのが各駅で開催されたんだけど、センター北駅で紹介したのがアンゴラ共和国だったんだよ。

※第4回アフリカ開発会議（2008年） アンゴラ共和国と都筑区のつながりのはじまりー

アフリカ開発会議（TICAD）は、日本政府が国連、世界銀行等と共催するアフリカの開発をテーマとする国際会議です。これまで、1993年から5年に1回、東京で開催され、このとき初めての東京以外、横浜での開催となりました。第4回アフリカ開発会議には、アフリカの41名の国家元首・首脳級を含む51か国や、34か国のアジア・欧米諸国、74の国際機関等の代表、民間セクターやNGO等市民社会の代表等3,000名以上が参加し、我が国外交史上類を見ない大規模な国際会議となりました。



Republic of Angola

Q3



「アンゴラ共和国」ってどんな国なの？

南部アフリカの西部に位置する共和制国家で、首都は西岸のルアンダ。人口は約2千万人。面積はフランスの2倍以上、日本の約3.3倍。北と北東はコンゴ民主共和国と、東はザンビアと、南はナミビアと隣接しており、西側は大西洋に面しているんだ。旧ポルトガル植民地であり、1961年からアンゴラ独立戦争を戦い、1975年に独立。独立後も2002年*まで内戦が続いたけど、内戦終結後は石油やダイヤモンドなどの豊富な資源を背景に急激な経済発展を続けているよ。



アフリカには54の国があるんだよ



*地図・説明－外務省 HP より



写真／在アンゴラ共和国日本国大使館

Q4

壁画はどんな風に製作されて、絵にはどんなメッセージがこめられているの？タイトルはあるの？



アンゴラ共和国からの提案で動きだした壁画の製作は、アンゴラ政府文化庁から派遣された4人の画家が、約5日間かけて描き上げたんだ！壁画のテーマは2枚とも「**友情の証**」。タイトルはなく、民族楽器やカーニバルなど自国の文化を鮮やかに表現した作品となったんだ。ちなみに、費用は、製作者の渡航費や道具代、現場の作業代など、全てアンゴラ大使館が負担してくれたんだよ。



Q5



あれから早7年

完成したときはどんな感じだったの？

壁画の完成を記念して、2008年（平成20年）5月31日には、市営地下鉄センター北駅で駐日アンゴラ共和国大使館主催の贈呈式が行われたんだ。アンゴラ共和国のフェルナンド・ダ・ピエタデ・ドス・サントス首相をはじめ、壁画を描いた画家4人など、同国の関係者ら約40人と横浜市関係者約10人が出席して盛大に除幕されたんだよ。



Q6

その後、アンゴラ共和国と横浜市・都筑区の関係はどうなっているの？



これからもずっといい関係を。

2014年11月3日には、都筑区制20周年記念事業のひとつとして、アンゴラ共和国と横浜市・都筑区との絆を一層強いものとするための交流イベント（主催：都筑区、横浜市交通局、特別協力：駐日アンゴラ共和国大使館）を開催したんだ。この時は、駐日アンゴラ共和国大使館のジョアン・ミゲル・ヴァヘケニ特命全権大使も式典に出席してくださったんだよ。2つの国をつなぐ友好の証。貴重な財産であるこの壁画を、ともに大切にしていきたいね。



セレモニー記念写真



アンゴラ共和国紹介パネル展



2014年11月3日

「都筑区制 20 周年記念 アンゴラ共和国・横浜市都筑区友好交流イベントの様子」



アンゴラ共和国大使館 × 都筑区 × 横浜市交通局
 ANGOLA × 都筑区 × 横浜市交通局
 EMBASSY OF THE REPUBLIC OF ANGOLA JAPAN
 都筑区制 20 周年 2014 11.3 11:00 ~ 14:30
 アフリカ アンゴラ共和国 友好交流イベント
 都筑区民まつりと同開催 センター北駅構内1階
 Center Kita (Sasabi) Station
 ●アンゴラ共和国紹介パネル展
 ●アンゴラの地名に由来する視座をもつ武道カポエイラ 演舞 (出演: コハダン・ジ・コンタス)
 ●友好 フェイスペイント サービス (先着100名様・無料)

アンゴラ共和国は南緯の南緯の国で、東部は南緯の南緯の国、人口は約2000万人。西部アフリカ最大の国であるザンベジ川(コングゴ川とも呼ばれる)が流れる。東部はアンゴラの主要な都市、日本の約3.5倍。北と東はコンゴ民主共和国と、東はザンビアと、南はナミビアと隣接しており、南緯は大西洋に面する。首都はアンゴラ共和国である。1975年6月11日アンゴラ独立戦争を戦い、1975年に独立。独立後も2002年まで内戦が続いた。内戦終結後はアフリカやアジアなどの重要な貿易相手国と友好関係を築き上げてきた。

センター北駅構内に展示されているアンゴラ人画家が描いた壁画1階にある壁画は高さ3.5m、幅1.8mに及ぶ大規模な壁画。壁画にはアンゴラ共和国と日本の友好関係が描かれています。

主催: 都筑区役所・横浜市交通局 後援: 都筑区ふるさとづくり委員会 協力: アンゴラ共和国大使館
 問合せ: 都筑区地域振興課国際係 TEL: 042-228-1441 FAX: 042-228-1229



ヴェヘケニ大使閣下と中村都筑区長(当時)

当日は、記念セレモニーにあわせて、アンゴラ共和国の紹介パネル展や国旗やダイヤモンド、富士山を描いた両国の友好の証「フェイスペイント」サービスが行われ、また、コハダン・ジ・コンタスによって、アフリカ・アンゴラにルーツをもつ「カポエイラ」の“アンゴラ”が披露されました。ヴェヘケニ大使閣下には、都筑区民まつりもご見学頂き、都筑女性フォーラムのお赤飯やスポーツ推進委員の焼きそば、青少年指導員による竹遊びなども楽しんで頂きました。

